

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※本体外側はつけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らないよう、乾燥させる。

パッキン・飲み口・ストロー

せんユニットから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P4(パッキンの取りつけ方)を参考にして、確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因) 飲み口・ストローは市販のストロー専用ブラシできれいに洗った後、内側を十分に洗い流し、乾燥させる。その後P.5(飲み口・ストローの取りつけ方)を参考にして、せんに確実に取りつける。

底カバー

底カバーを本体から取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとり乾燥させてからP.5(底カバーの取りつけ方)を参考にして取りつける。

お手入れ上の注意

- お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。
- 本体は、塩素系漂白剤を使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しない。 サビ・塗装はがれのおそれ。
 - 本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。 本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
 - アルコール・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 本体プリント部分のはがれ・傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。

お手入れ上の注意		つつき
● 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。		
● 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。		
● 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。		

部品名 洗い方	せんユニット		本 体		底カバー
	ふた せん	飲み口 ストロー せんパッキン	内 側	外 側	
流水洗い	○	○	○	○	○
つけ置き洗い	○	○	○	×	○
漂白剤	酸素系	○	○	×	○
	塩素系	○	○	×	○
薬液消毒 ※1	○	○	×	×	○
電子レンジ消毒	×	×	×	×	×
煮沸消毒 ※2	○	○	×	×	○
食器洗浄機 ※3	○	○	○	○	○
食器乾燥機	○	○	○	○	○
耐熱温度	100℃	140℃	—	—	140℃

- ※1. 哺乳瓶・乳首専用の消毒液をご使用ください。
消毒液に記載されている洗浄方法をご確認の上、使用してください。
- ※2. 部品が鍋底や鍋肌にふれないように注意してください。
ふれると変形することがあります。
- ※3. 食器洗浄機・乾燥機および洗剤の取扱説明書で、使用できる部品の条件(耐熱温度など)や洗浄方法をご確認の上、使用してください。
食器洗い乾燥機を使用すると洗剤や水垢の付着により白い斑点・水滴跡が残る場合があります。その場合は放置せず、変色した箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布でふきとってください。熱湯をかけると本体が熱くなりますのでやけどには十分にご注意ください。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ①規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ②約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。
においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れをするときは、製品が傷つかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■ふた・せんからもれる	せんパッキン・飲み口・ストローが正しく、しっかり取りつけられていますか。	せんパッキン・飲み口・ストローの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	せんパッキン・飲み口・ストローが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんユニットやせんパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に冷たい飲みものを入れていますか。	十分に冷たい飲みものを正しい量まで入れてください。
■保冷が効かない	飲みものの量が少なくないですか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※せんパッキン・せんユニット・飲み口・ストローは消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口………お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名	
APB-R型	せんユニット (せん・せんパッキン・飲み口・ストロー)
APB-R型	ストローセット (飲み口・ストロー)
APB-R型	せんパッキン
APB-R型	底カバー

※各消耗部品については、各部のなまえをご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら

 **0570-094891**

06-6453-9489

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589

製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。

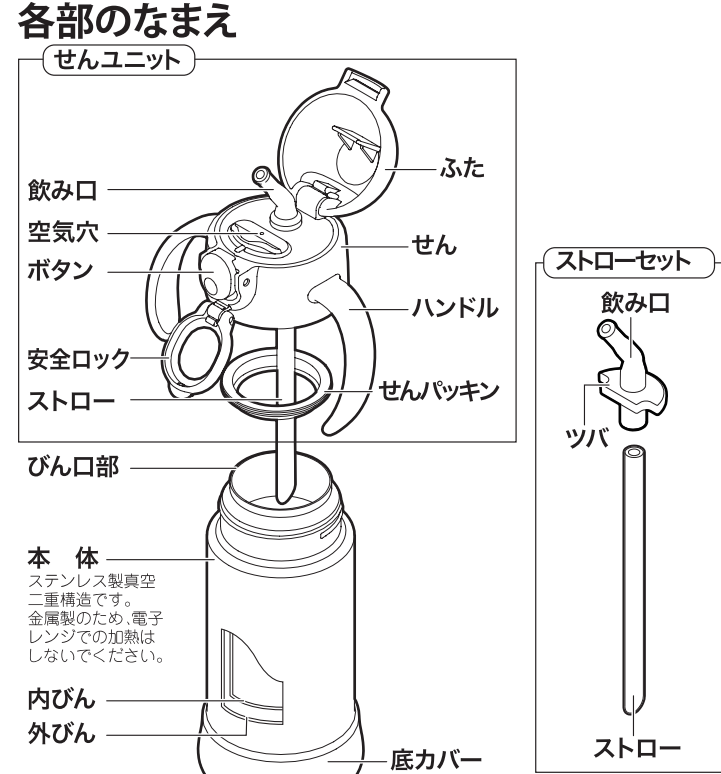
 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
〒553-0002 大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号

Peacock 保冷専用

ベビーストローマグ(ハンドル付き)

取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

安全上のご注意 もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保冷以外に使用しない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、せんユニットがあがなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**
サビ・保冷効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

絶対に入れない

- **保護者の目の届かないところで使用させない。またいたずらには注意する。** けがなど危険。

- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。

- **倒したり、落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保冷効果の低下・サビ・飲みものがもれる原因。

- **製品の横置きは避ける。** もれなどのおそれ。

- **熱い飲みものは絶対に入れない。** やけど・もれなど危険。

- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。

- **せんユニットを取りつけるときはストロー内に飲みものを残さない。**
本体に飲みものが入っている状態でせんユニットを取りはずすと、ストロー内に飲みものが残ることがある。そのまま取りつくとふたをあけたときに飲み口から飲みものがふき出て、ものを汚すおそれ。

- **せんユニット使用時に、ふたをあけた状態で傾けたり、逆さにしない。**
飲みものが飲み口や空気穴からもれて、衣服を汚す原因。

- **飲みものは、規定量までにする。** 入れすぎるともれ・あふれのおそれ。

- **せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。**
もれなどのおそれ。衣服を汚すおそれ。

- **せんパッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれなどのおそれ。衣服を汚すおそれ。

- **飲みものを飲む際は本体を傾けすぎない。** 飲みものもれ・衣服を汚す原因。

- **飲み口・ストローをつけた状態でお手入れしない。**
ストロー内に残った洗浄液などが使用時に飲み口から出て、ものを汚したり、洗浄液を飲んで体調不良になるおそれ。

- **飲み口を噛み切らない。** 誤飲・窒息の原因。またはもれてものを汚すおそれ。

- **底カバーを持って逆さにしない。**

- **かばんなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のもれを防ぐため必ず縦に置く。

- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合精密機械の故障の原因。

- **持ち運ぶときはせんについているハンドルに強い衝撃を与えない。**
せんがひらくおそれ。

- **せんについているハンドルを持って持ち運ぶときは、せんがゆるむ方向に回転させたり、強い衝撃を与えない。せんがゆるまないように注意する。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **せんについているハンドルに金具やひも等をつけ、ぶら下げて使用しない。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **自動車運転中は使用しない。**
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

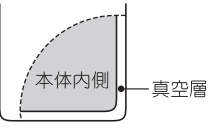
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

- **本体は煮沸をしないでください。**
*すきまに水が侵入してさびや保冷不良などの原因。
- **電子レンジ消毒はしないでください。**
*金属部がスパークして電子レンジが故障する原因。
*熱により部品が変形してもれてものを汚す原因。

真空層の内部から水の声がする場合は、使用しない。

保冷性能が低下するおそれ。
真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

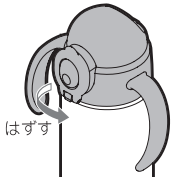


ご使用方法

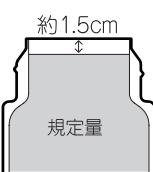
ご使用前にせんユニット・内びん・ストローセットを洗ってからご使用ください。

1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 冷たい飲みものを入れる

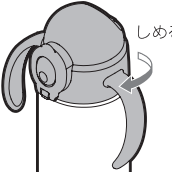


※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものの量は規定量までにしてください。

飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。
入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんユニットをしめてください。

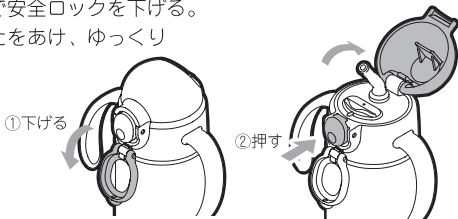
3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわしてしめる。



4 ふたをあけて飲みものを飲む

- ① 本体を立てた状態で安全ロックを下げる。
- ② ボタンを押してふたをあげ、ゆっくり飲みものを飲む。



5 飲み終わったら

- ① 飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。
- ② 安全ロックを上げて、ロックする。



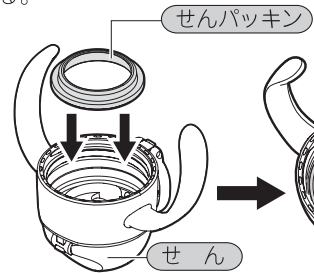
パッキンの取りつけ方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

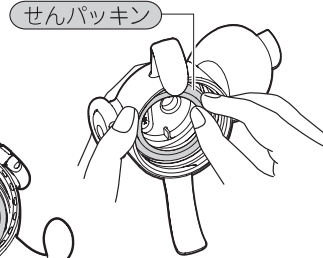
せんパッキンの取りつけ方

せんにはめ込み、指でまんぺんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



せんパッキンのはずし方

パッキンをつかみ、取りはずす。

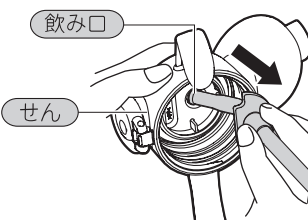


※正しく取り付けないと、飲みものがもれる原因となります。

飲み口・ストローのはずし方

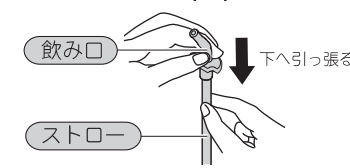
飲み口のはずし方

ふたを開けた状態で、せんから飲み口を矢印の方向へ引き抜く。



飲み口・ストローのはずし方

飲み口を持ちストローを下へ引っ張り引き抜く。



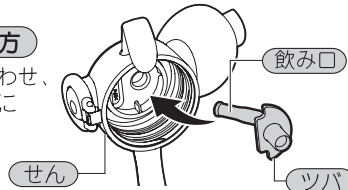
飲み口・ストローの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

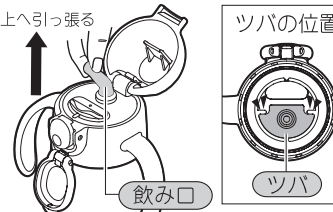
お手入れなどで、飲み口・ストローを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

飲み口・ストローの取り付け方

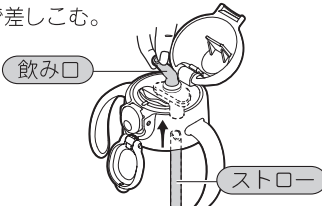
- ① せんと飲み口のツバの位置を合わせ、飲み口の先端をせんの下から穴に通す。



- ② せんと飲み口のツバとのすきまができないように、飲み口を引っ張る。「ツバの位置」のように取り付けられているか確認する。



- ③ 飲み口にストローを奥まで差しこむ。



底カバーの取り付け方

底カバーを本体の底に合わせてしっかりと取りつける。

※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。

